



自好協  
主学力

# 松ヶ枝

瀬戸内町立古仁屋中学校だより



古仁屋中で検索 上記二次元コード

6月18日発行

## 「当たり前前のレベルをさらに…」

～人、ものに優しく高め合う古中生へ～

瀬戸内町立古仁屋中学校 校長 青山 智宏

5月中旬に3年生は職場体験学習に取り組みました。職場体験学習を通して、生徒たちは社会性を高めることの必要性やこれからの学校生活をどう過ごせばよいのかなど、多くのことを学んできたようです。受け入れをいただいた町内各事業所の方々に感謝申し上げます。

また、6月9日からの地区総体では、各部活動や地域クラブで頑張っている生徒たちが、これまでの練習の成果を発揮しようと躍動する姿がそれぞれの会場で見られました。みんな、一所懸命で、応援している私も誇らしい気持ちになりました。

今回は「当たり前前のレベルをさらに…」とタイトルに掲げました。生徒たちがもつ力は、本人の努力、周りのサポートによって大きく伸びていきます。現在は、学力、生活面ともに持っている力を全員が十分に発揮できているとは言えない状況ですが、まだまだ伸びると考えています。

そこで、ぜひ、次のことをご家庭でも繰り返しお話しください。

- ※ 人の話をしっかり聞き、疑問点は自分で質問するようにしましょう。
- ※ 場に応じたあいさつをしましょう。
- ※ 自分の持ち物やプリント類の整理整頓をしっかりとしましょう。
- ※ 時間を守りましょう。(時間ギリギリは厳禁！)

本校の生徒たちの思考・判断・表現力は、調査の結果から全国や県と比較するとやや低い状態です。これは、人の話の内容をしっかりと聞き取れないことが大きな要因と考えます。また、大人が先回りして小さな障害を取り除いていると、子供たちは自分の力で解決する力をつけることができません。(考えずに答を待っている、正解をすぐに聞こうとする・・・等)

学校でも繰り返し指導していきますが、ぜひ、ご家庭でも、じっくり話を聞き、そのうえで、自分の考えをもつようにすること、それを相手に分かりやすく伝える練習をさせてください。(高校入試の面接にもつながります。) よろしくお祈りします。

## 大島地区総合体育大会



6月9日(火)～19日(金)にかけて、大島地区総合体育大会が開催されました。どの部活動もこれまでの練習の成果をすべて出し切って、悔いの残らない試合ができたでしょうか。最後まであきらめずに戦い抜くことができたでしょうか。

3年生にとっては最後の地区総体。苦しいとき、自分に負けそうなときに、これまでの2年半の苦しかった練習のことやチームメイトとの楽しく過ごした日々を思い出しながら、ストグレ魂で乗り切り、持てる力のすべてを試合にぶつけてきたことと思います。

サッカーアルゼンチン代表のメッシ選手は、「努力すれば報われる? そうじゃないだろ。報われるまで努力するんだ。」と言っていました。努力することが目的ではなく、目的を達成するまで努力し続けることの大切さがこの言葉からうかがえます。

「ゴミを拾う」ことで有名なのは、メジャーリーガーの大谷翔平選手。「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そういう発想をしなさい。」という花巻東高の恩師・佐々木洋監督によるアドバイスが大谷翔平選手の行動の根源にあるそうです。技術面だけの向上を目指すのではなく、「人」としてどのように振る舞うか、どのような行動をとるかが、「人」としての成長には大切です。競技の技術だけではなく、「人」として人生の目的や目標を達成していけるよう大きく成長し続けてほしいです。

## 学期末テスト 継続は力なり

6月24日(水)～26日(金)に学期末テストを実施予定です。

テストは、皆さんに100点満点だけを求めているわけではありません。大切なのは、「テストという高い壁に対して自分がどう向き合い、どう努力したか」というプロセスです。ここで身につけた「計画を立てて努力する力」は、大人になってもずっと使える一生の武器になります。

テストが終われば、楽しい休みが待っています! まずは今日、家に帰ってからの「最初の5分」、何から始めるか決めて実行に移しましょう。皆さんがベストを尽くせるよう、応援しています。

## ハンセン病問題を正しく理解する週間



6月22日(月)～6月28日(日)は「ハンセン病問題を正しく理解する週間」です。この期間はテスト期間でしたので、6月17日(水)、18日(木)の朝、ボランティアの方と職員とで、ハンセン病に関する読み聞かせを行いました。

偏見や差別は、ウイルスや細菌が作るものではありません。私たち人間の「無知」と「恐怖心」が作り出すものです。人は、よく分からないものを恐れます。そして、恐ろしいから遠ざけようとし、排除しようとしています。その「無知からくる排除の心」が、一人の人間から家族を奪い、故郷を奪い、人生のすべてを奪ってしまった。それがハンセン病の歴史です。だからこそ私たちは「正しく知る」必要があります。悲しい歴史を二度と繰り返さないために、まずは「正しく知ること」、そして「自分だったら」と想像することが大切です。ハンセン病についての知識が、病気や生命、思いやりについて考えるきっかけとなればありがたいと思います。

## 7月の予定(案) 裏面へ

- 11日(土) 合唱コンクール 第2回学級・学年PTA
- 16日(木) 2年生平和学習 (フィールドワーク) 3年生板付船体験
- 17日(金) 1学期終業式
- 18日(土)～24日(金) 県総体
- \*8月21日は、出校日\*

裏面に今年度の小中連携 共通実践事項を載せてあります。是非、ご家庭での声かけと実践ををお願いします。



# R8年度小中連携 共通実践事項



学習面	実践事項	家庭学習の深化
	具体策	各クラス最優秀ストグレの掲示 (学習文化部・月1回)
生活面	実践事項	気持ちのいいあいさつができる 児童生徒の育成
	具体策	あいさつについての目標設定 (週1回)
保健面	実践事項	生活リズムを整える
	具体策	メディア時間の徹底 (平日2時間以内)